

【様式①】令和7年度 学校評価書(小・中・義・特別支援)

学校名 加納小学校

校長名 岩佐 優

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	子ども達の主体性を育て、力をつける方途について成果をまとめ、提言を行う。日課の充実と見直しを図ることにより、社会に生きて働く力を育てる。	B	3年生以上の参加による、児童会長と報道局長選挙をはじめ、児童会組織の改編、および、5大行事を核とした教育課程の編成と実施により、児童の主体性と、社会に生きて働く力の醸成につながった。	・人前で自分を発揮できる面白さを感じている児童が増えたのではないかと。 ・自治力向上のための取組を確実に進めていることが理解できる。この度の衆議院や市長選挙とつながって考えられるとよい。 ・校長の経営方針が随所に見受けられ、子ども達に考える力を与え、さらにほめて伸ばす素晴らしい教育が推進されている。 ・それぞれの役割を果たすことで自分が認められていると思えるようになっていったと思う。1学年上がるたびに責任感が生まれ、考えて行動する力がついている。 ・オペラには感激した。教師の、オペラへの注力と授業とのバランスを考え、オペラを成功させようとする子ども達の自主性を生かす方針がとてよかった。 ・考える力、話す力、聞き取る力、行動する力、喜びを分かち合う力、いろんな力が身に付いていると思う。	今後も、子ども達の主体性を育て、力をつける教育を行っていく。日課の充実と見直しを図り、好きを育み、得意を伸ばす探究的な活動や、誰一人取り残さないという視点に立った自己選択学習、より良い人間関係を築く自主的・自発的な活動を通して、一人一人の個性や可能性を伸ばすことにより、社会に生きて働く力を育てる。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	大きく見直した総合的な学習の内容と系統を、6年間の学びにより加納への誇りを持ち子ども達に志を育てるカリキュラムへとデザインし、実践する。	B	総合的な学習の時間のカリキュラムを幼小中を見通して再編し、探究学習・校外学習を行った。また、幼小中および幼小職員との合同研修会を行ったり児童・園児や、児童・生徒との交流を行った。	・KDの取組が魅力的。加納の歴史や文化を楽しむために、様々な学習形式で取組むことで、自主的に調べ、疑問も多く生まれ、より深く勉強できている。このような取組を通して、我がまちを誇りに思い語る子になってほしい。 ・子ども達が自信にあふれているように感じるのは、総合的な学習の見直しの成果。 ・各学年の子ども達が行事やKDを通して、何を目的に自分が何をやるのか明確になっており、次年度以降に学ぶことの見直しをもてる交流がされていく効果が高い。 ・地域愛や地元への誇りをもたせたり年代を越えたふれ合いで社会性も意識させることができ素晴らしい。 ・地域の者も応援したくなるような学校をこれからも目指していただきたい。 ・幼小の交流が、子ども、職員ともに盛んに行われていると感じた。親として有難い。 ・幼稚園との接続についても熱心に取組んでいただき感謝している。	本年度スタートしたKD6年間の学びを、子ども達がより主体的に探究し、加納への愛着や誇り、志を育むよう深め、より充実した活動にしていく。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	職員の最終退校時刻を見直し、業務の効率化、会議の精選を行う。働き方改革を推進するとともに、職員間のコミュニケーションを促進し、働きがいのある職場を目指す。	B	校長の経営構想が組織に浸透するよう会議を精選、再構成した。職員の資質向上の場として主任会を設定し、学年会を通して報連相とOJTが働き、職員間のコミュニケーションの促進につながった。	・校長のリーダーシップの下、各職員が自分の考えを提案しながら挑戦している学校風土から学ぶ。 ・教師が楽しんで授業を展開したり児童との心の距離を縮めて関わっている姿に感心している。 ・余裕が生まれることで、教師だけでなく子ども達も笑顔あふれる円滑な関係を築くことができる。効率よく時間を使うことは、質の高いものが凝縮された業務体制といえる。 ・保護者にも理解いただいているようで、開かれた学校を目指していると感じる。 ・校長が4月に、保護者に伝えた方針通りに、各教員が理解し、一つの方向に向けて行事や取り組み、授業や指導が行われていると感じた。 ・よりよい方向を目指して先進的な授業や経営に取り組まれていることは大変評価できるが、教師への過度な負担にならないことを期待する。	保護者・児童・教師のバランスを重視し、より安心安全な学校風土を目指す。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	保護者と連携し、ここタン、いじめのアンケート、心と体のアンケートや講演会の実施など、意図的・計画的で有効な実施について、全体計画の見直しを図る。	B	PTAと協力し、未来に生きる子どもたちにとって必要なテーマについて、講師を招いた講演会を開催した。いじめはよくないという認識について、保護者・児童・教師で共有し、保護者・児童からも高い評価を得た。	・子ども達が今後どう生きるのか、どうしていくべきなのかを考えさせられる講演会や音楽会だった。今から取り組んで、ずっと取り組んでいけるキャリア教育である。 ・いじめやトラブルへの対応の細やかさ、ていねいさはとてもすごいと日々感じている。 ・HPを積極的に活用し、保護者の認識を高め、意見や感想をもらおうとよい。 ・学校評価で8～9割り高評価というのは珍しいことと思う。誰のために、何のために行うのかという視点を、学校だけでなく保護者も地域の方々も理解いただけることを願う。 ・不登校の対応にはいろいろな問題があるが、可能な限り手を差し伸べてほしい。 ・保護者・児童・教師のバランスを保持し、細やかな共有と温かい寄り添いが大切。	学校の教育活動が、誰のために、何のために行うのかという視点で保護者や地域の方々に理解いただけるよう情報発信を行う。
災害、事故に対する安全性の確保	地域と共同し、通学路における危険箇所を点検や、危機管理マニュアルの見直し、保護者への引き渡しについて、想定範囲を広げる。	B	市の施策である通学路安全対策ワークショップにおいて自治会や保護者の協力を得て、通学路の改善について市へ要望できた。また、その情報を用いた安全教育を行い、交通安全について児童に啓発した。	・安心・安全な学校づくりに取り組んでいることが理解できる。 ・子ども・保護者・教員・地域の方々と一緒に、安全について考えていただきありがたい。登下校を含め、交通安全について指導していただき、感謝している。 ・学校内外でのヒヤリハットを、例を取り上げて安全性を認識させるとよい。 ・確実に起こるであろう時に備えて、リスク回避すると共に、児童に自分で考えて行動する力を身に付けることが大切。目指す姿がすべてつながっていてわかりやすい。 ・今春から16歳以上の自転車違反が取り締まりを受ける。小学生から基本的なルールを徹底できるよう交通安全教育の機会を増やしてほしい。 ・私たち地域に住むものとしての見守り強化も必要。	より地域と共同し、KYTを進めていく。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	組織の見直しと計画的な予算執行、修繕及び営繕計画を立て、子ども達の心を育てる「美しい環境」づくりを行う。	B	適正な備品管理と整理整頓、営繕・修繕計画により「美しい心」を育てる環境整備を行った。修繕については、市の予算もあり、進まない状況もあるため、継続的に要望を行っていききたい。	・老朽化が目立つ。教室の長尺シートもひどいもの。西門の整備をお願いしたい。大変危険な門。一人で開閉し、腰や足をやられている。なかなか要望が通らず、共感する。 ・限りある予算の中で、安全や学習の優先順位を考え、整備していただいている。PTA予算を可能な限り整備に使っていただきたいと考えている。 ・予算確保はなかなか難しいと思うが、しっかり要望して行ってほしい。 ・美しい環境を作ることは美し心を生み出すことになる。教師も子どもも、人から見えない場所まで美しくできる心を養うことができる。	組織の見直しと計画的な予算執行、修繕及び営繕計画を立て、子ども達の心を育てる「美しい環境」づくりを引き続き行う。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/kanou-e/>